

脳大成理論補足_3

【脳使用傾向性別アプローチテクニック】

私たちは、明らかに脳の使い方に傾向性があります。それを大別すると4つのタイプに分けることができます。

それは、IM優位型・RV優位型・NV優位型優位型・MTG優位型の4タイプです。それぞれ脳の部位の頭文字をとって優位型のタイプ名にしています。

IM（島皮質～Insula 前頭前野～Medial prefrontal）

RV（右背側前頭前野～Rt.dorsolateral prefrontal 線条体～Ventral striatum）

NV（側坐核～Nucleus accumbens 腹側被蓋野～Ventral tegmental area）

MT（前頭前野～Medial prefrontal 側頭頭頂結合部～Temporoparietal junction）

これらは更に二つに分けることができます。IMとRVは理性優先であり、NVとMTは感情優先であるという傾向性があります。

そして、論理や理性を優先する脳の使い方と、感情や感覚を優先する脳の使い方を現実に適応させた時に、様々な傾向性を導くことができるのです。以下の表は、私たちの長年の研究と観察で導き出した理性優先脳使用傾向の方の特徴と、感情優先脳使用傾向の方の特徴をまとめたものです。

押さえておいて頂きたいことは、一概に全て該当する訳ではないということです。竹を割ったようにハッキリ分かれている人もいれば、混在する人もいます。なぜなら、私たちは上記の4つを混合して脳を使っているからです。しかし、明らかに傾向性があるということは断言できます。

脳使用傾向性別アプローチテクニックにおいて、今回は二つのタイプに分けて考察し、技術に落とし込んでいきます。

考え方としては「知らなくてやみくもにアプローチするよりは、このような傾向性を知ってアプローチした方が断然効果的である。」という考え方を底辺に置き、ともすると劇的な効果を期待することができるという期待を持って身につけてください。

更に、あくまで相手を理解するためのものとしてあなたに定義付けてください。相手を自分の意のままにコントロールするための知識や技術ではなく、相手の可能性の最大化を図るためにアプローチするという考え方を持って実践してください。

主な特徴として以下が挙げられます。

理性優先脳使用傾向～時間を重んじる。過去・未来を意識する。目的・目標意識が強い。

感情優先脳使用傾向～空間を重んじる。現在を意識する。相手との関係性に対する意識が強い。

また、以下のような特徴があります。

項目	理性優先脳使用傾向 (NV・MT)	感情優先脳使用傾向 (IM・RV)
外面的傾向性		
歩行時 (縦)	一定で歩く (頭・肩が一定)	跳ねて歩く (頭・肩が上下する)
歩行時 (横)	あまり揺れない	揺れる
ファッション	周囲と同じような服装を選択する	人と違う派手目な服装を選択する
ホビー	インドア・情報収集を好む	アウトドア・体験を好む
一人でいる時間	かなり必要	あまり必要でない
行動のパターン	理解してから行動実践	行動実践しながら理解
ジェスチャー・ハンドアクション	少ない・小さい	多い・大きい
アイコンタクト	少ない・短い	多い・長い
初対面の人との距離の取り方	遠い、手を伸ばして届かない距離	近い、手を伸ばして触れられる距離
ボディタッチ	少ない、触れて欲しくない	多い、触れたい
話し方・説明の仕方	直接的・直接情報中心で事務的	湾曲的・間接情報を含め物語
メールや電話	必要最小限で割と事務的 顔文字、装飾など最低限	雑談から入って最後に用件 顔文字、スタンプを割と多く使う
声のトーン	割と一定のトーン	抑揚が大きい、強い
声の大きさ	どちらかという小さい	割と大きい
内面的傾向性		
知りたいこと	理由が知りたい	感情が知りたい
基本的信条	目的・目標実現	貢献・充実感
性格的長所	リーダーシップ・責任感が強い・秀逸	協調性が高い・こだわらない・愛情
性格的短所	利己主義・冷淡・臆病	感情起伏が激しい・依存性・気分屋
話を聞くととき	話しの裏を読む	そのまま素直に聞く
恋愛・セックスの基準	刺激・発散・主義	一体感・雰囲気
ブラックジョーク	わりと気にならない	傷つきやすい
集中・興味・関心	シングルタスク・深く狭く・一点集中	マルチタスク・広く浅く・同時に
パーソナリティの傾向性	帰納的、理屈から考える・理系	演繹的、現場主義・文系
	オールイズワン、個を重んじる	ワンイズオール、周りを重んじる
	論理性を重んじる。思想・考え優先	感情を重んじる。感覚・感じ優先